

# そらこめ通信 No.101 2022年 11月09日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

約1年ぶりの「そらこめ通信」になります。皆さまお変わりございませんでしょうか。おかげさまで今年も素晴らしい出来秋を迎えることができました。新聞等の報道で既にご承知の方もおられると存じますが、10月14日に公表された水稻の作況指数において北海道は106の「良」となり、愛媛県と並んで最も高い数値が出ております。今年には北海道、東海、近畿、中国、四国地方が比較的天候に恵まれたことで水稻の作柄が良いとのこと。北海道における「良」は今年で3年連続となります。ちなみに作況指数とは10a当たりの予想収量を同じく10a当たりの平年収量で割った値のこと。あくまでも「収量ベース」で平年と比較してどれだけ「重量」がありそうかという話です。価格の話が一切出てこないのがミソかも知れません(笑)。事業者目線と言えば、収穫したものを製品にして、いくらで売ったのか、それには時間含めてどれだけのコストがかかっているのかが大事なのです。多くの農家は販売経路の大半をJAさんに委ねているために農家個々における裁量部分がコスト一辺倒になりがちです。JAさんに頑張って頂くのはもちろんですが、将来を見据えたときJAさんに任せたままで果たして大丈夫なのか…悩みは尽きません。今年の米ですが食味的には申し分ない出来かと思えます。この機会にぜひご賞味いただきたいと思えます。



育苗ハウスでの播種作業(4月17日)



苗と肥料の補充(5月20日)



北に帰る白鳥の群れ(4月17日)



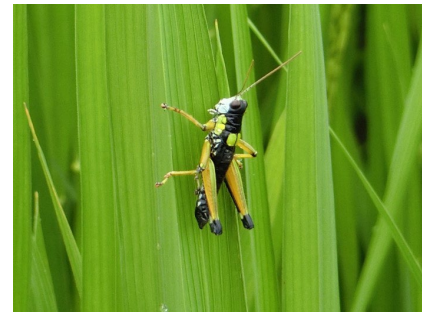
田植え(5月20日)



育苗ポットの洗浄(5月20日)



出穂のようす(7月23日)



稲の葉に止まったバッタ(イナゴ?)



稲刈り作業(9月21日)



手刈りした稲の脱穀作業(9月21日) コンバインの籾をトラックに積み込む



収穫した籾を乾燥機に入れる



ここから乾燥機に入ります



3台並んだ乾燥機



出荷を待つダリア(9月21日)



等級検査(10月14日)



検査のようす(10月14日)



1等の刻印~「ゆきさやか」です

1年が過ぎるのは早いものです。ついこの間、田植えが済んだかと思えばもう稲刈り、そして等級検査を経てはや新米が出回り始めています。歳を重ねるごとに時間スピードが増している気がするのは私だけ?(笑)。1年間を振り返ってみると今年には天候もよく、台風被害にも遭わずとても恵まれた年でした。北海道はこれから雪の季節を迎えます。万全の備えをもって迎えたいものです。

インターネットで美味しいお米♪ (株)空知こめ工房 ホームページ <http://www.sorachi-kome.jp/>